

主催



共催



IRAQ BUSINESS FORUM

6月26日(火)

午後6:30~9:00

ドバイ国際金融センター4階
Capital Club

ドリンク、カナッペつき

参加無料、入場は招待者のみ

参加申込先

events@gatherton.com

総選挙後の イラクにおける 投資と政治の動向

イラクでは5月12日に総選挙が行われ、新政権が誕生しました。総選挙後の政治的混乱はいつ收拾するのでしょうか。またそれによって同国における投資機会や経済の展望にはどのような影響がおよぶのでしょうか。

イラク・ビジネス・フォーラムは専門家や事情通の講師陣からイラクの最新動向について解説を受け、イラクで長年にわたって投資や事業運営を手がけてきた人々と交流し、貴社が属するセクターでイラク方面の人脈を広げる絶好のチャンスです。人脈を広げ、関係者との絆を深めてイラク事業を拡大したい方は、懇親の場として、ぜひご活用ください。



吉岡 明子

日本エネルギー経済研究所
主任研究員

基調講演 講師



ロビン・ミルズ

Qamar Energy社
CEO

プラチナ・スポンサー



ゴールド・スポンサー



ブロンズ・スポンサー



基調講演 講師略歴

吉岡 明子

日本エネルギー経済研究所

大阪外国語大学卒業後、1999年に財団法人中東経済研究所(現日本エネルギー経済研究所中東研究センター)入所、現在は(財)日本エネルギー経済研究所中東研究センター主任研究員。2007年Gulf Research Center客員研究員。研究分野はクルド人自治区を含む現代イラクの政治とエネルギー。著書は「イラク戦後移行期のアラブ諸国とイラクの冷たい関係ー安全保障環境とアラブ主義の変容の視点からー」『国際政治』No.159(日本国際政治学会、2010年2月)、「The shifting balance of power in Iraqi Kurdistan: The Struggle for democracy with Uninstitutionalized governance」、International Journal of Contemporary Iraqi Studies第9巻1号(2015年)など。

ロビン・ミルズ

Qamar Energy

2015年にQamar Energyを設立し、中東のエネルギー事情に合致したプロジェクトの実施方法等に関するコンサルティングサービスを提供。エネルギーの戦略と経済性に関するエキスパートで、Foreign Policy Magazineから「エネルギー界屈指の事情通」と評されている。

同社設立に先立ち、EUのイラク事業や中東事業の拡大を模索する各種国際石油会社向け大型コンサルティング案件多数の責任者を務め、ガスと発電、再生可能エネルギーの統合に取り組んだ。

大手石油会社シェルに10年間勤務し、主にイラク、UAE、カタール、イラン、その他中東諸国における事業開拓に従事。続いてDubai HoldingとEmirates National Oil Company(ENOC)に計6年間勤務し、中東エネルギー・セクターの事業開発を進めた。

コロンビア大学グローバル・エナジー・ポリシー・センターの特別研究員とイラク・エネルギー研究所の上級研究員を務めており、2年にわたりブルッキングス研究所のエネルギー問題に関する客員研究員も務めた。The NationalとBloombergのコラムの執筆を担当しており、著書には「The Myth of the Oil Crisis」、「Capturing Carbon」がある。

ケンブリッジ大学で地質学を専攻し、優等学位を取得。アラビア語、ペルシャ語、オランダ語、ノルウェー語に堪能。

